2020 年に実施したこと

昨年実施してきたことを概要程度ですがまとめています。詳しく知りたい、実際に使った資料が欲しい、など、皆さんの日々の業務で活用できることがあれば、ご連絡ください。

〔もくじ〕　※ クリックすると該当ページにリンクします

1. 古民家ホテルやグランピングの始動 2
2. 医療マネジメント職の卒業生 2
3. オンラインサロン病院事務の知恵袋 2
4. 新型コロナウイルスへの対応 2
5. 熊本県南の豪雨災害で JMAT 派遣 3
6. リモートワークの環境は整った 3
7. 医師体制の充実から深化へ 3
8. やつだ農園の下準備 3
9. 理念が定着しはじめました 4
10. 事務部から 1on1 の実践 4
11. 健康友の会とオンラインによる集患 4
12. 今年もたくさんの補助金を申請 4

講演実績 4

執筆実績 5

あとがき 6

1.　古民家ホテルやグランピングの始動

2017年頃から準備してきた地域づくりの活動がようやく陽の目を浴びるところまできました。7月にキャンプ場COMMON IDOE、8月にはイタリアンレストランSan Vito、古民家宿屋kugurido、コロナで遅れていた古民家再生ホテルNIPPONIA　甲佐　疏水の郷が11月に、次いで自然酵母の古田パン、と立て続けにオープンしました。地元内外のメディアから多数取り上げられ、稼働も順調な滑り出し。やっとここまできた、という気持ちです。もちろんこれは始まりでしかなく、甲佐町を盛り上げて病院経営に直結させるところまでやり抜きます！

・キャンプ場　　https://idoe.camp/
・古民家ホテル　https://nipponiakosa.jp/
・古民家宿　　https://yadoya-kugurido.com/

2.　医療マネジメント職の卒業生

谷田病院の事務部は医療マネジメント職という、短期間での事務部内ジョブローテーションとOJT &Off-JT研修を必須として、病院経営ができる人材の育成をしてきました。4月には初の卒業生を輩出。医療環境総研株式会社を設立して、全国の医療機関や介護施設の経営支援を始めてます！新規に入職するメンバーも多方面から集まり、事務部を取り巻く人材層が熱く！なってます。

・医療環境総研株式会社　https://www.iohm.jp/

3.　オンラインサロン病院事務の知恵袋

これまで各月でやってきた藤井塾も3年目を迎え、新たな取り組みをスタートしよう！ということになり、全国の医療機関でチャレンジしてる事務職（事務以外の参加もウェルカム）がオンライン上で意見交換、情報交換、そして、副業として技能を価値に変えていく場を始めました。現在、40名以上が参加してくれており、日々いろいろなディスカッションが繰り広げられてます。参加者募集中です！

・病院事務の知恵袋　https://www.iohm.jp/wisdombag

4.　新型コロナウイルスへの対応

昨年はコロナを除いては語れないくらい、コロナに振り回された一年でした。病院では発熱外来のプレハブを立て、外来だけですが診れる体制をつくりつつ。経営面では補助金はもちろん、銀行融資もお願いしてボーナスは通常通り払えました。地元医師会では診療所を設立

して、町や保健所の協力も得ながら、ドライブスルーの検査体制を医師会の先生達の輪番体制で構築。まだまだ予断を許さない環境ですが、なんとか乗り越えなければ。

5. 熊本県南の豪雨災害で JMAT 派遣

7 月に発生した豪雨災害を受けて、地元の上益城郡医師会で県内で最速に JMAT を派遣しました。経験があったわけではないのですが、多くの医療機関から医師、看護師、ロジを派遣して、被災地支援ができました。これも在宅医会などを通して医師会の活動で顔の見える関係が構築していたからできた動きとスピードだと思います。
https://note.com/jimu/n/n1bfce387edcd（有料ですが JMAT の体験記事です）

6. リモートワークの環境は整った

コロナ禍の影響で県外での講演会や経営支援の活動がオンラインに切り替わって、院内に居る時間が過去最高に増えました。いつもいるので助かると言った声もありますが、個人的には付加価値が高まった実感はなく。ペーパレス化、稟議書のオンライン化、VPN によるネットワーク接続、Web 会議システム、そして長くやってきたことによる事務部スタッフとのコミュニケーションギャップの低減で、リモートワーク環境は整ったなぁ。どんなふうに DX していくか模索しています。

7. 医師体制の充実から深化へ

医師数は増えていませんが、昨年から参画してくれた整形外科の先生が良い方で、新しい科ですが浸透しはじめました。病気による急な欠員もありましたが、済生会熊本病院からの支援もいただき診療継続しつつ、これをきっかけに連携を加速させピンチをチャンスに変えたいなと。新しい医師は病院の考えに一致した人に限定しようと思って PR 始めてます！家庭医や地域医療に興味あるドクターはぜひ。
https://www.yatsuda-kai.jp/recruitdr

8. やつだ農園の下準備

直営で運営している栄養科（調理含む）で地産地消に向けた動きを加速すべく、地元の休耕地を借りて野菜や米を育てることにしました。既に野菜は何種類かチャレンジ。来年には病院で使う年間のお米を全て無農薬に切り替える予定で進めてます。
YouTube のやつだチャネルで農園の様子が見れます
https://youtube.com/channel/UCtm3iKyKDTB3Sc7vlN0MM6w

9.　理念が定着しはじめました

2019 年に理念を見直し「一人ひとりの大切な時間に寄り添います。」として 1 年ちかく経ちます。介護医療院やサ高住で利用者さん向けのイベントやカフェ活動が始まったり。朝礼で「寄り添い」をテーマに職員が話してくれる中に、とても心温まる“レジェンドストーリー”があったり。徐々に浸透してきていることを感じています。

10. 事務部から 1on1 の実践

年に数回の面談ではなく、より頻回で短時間の面談をして、スタッフとの考え方のズレをなくしていく 1on1 を始めています。評価はしない場です。進捗管理もしないというところもありますが、うちでは進捗管理はするようにしています。自分も含めて、人はルーズになりがちなことを前提に、定期的に確認することで流されないようにしています。

11. 健康友の会とオンラインによる集患

これまでもやっていましたが、定期受診の患者さんの送迎をしっかりと始めてみました。結果として、新規患者の増加にはなっておらず、既存患者さんの利便性向上となりました。オンラインによる情報発信も“集患”には直接つながっている感じもなく。一方、医師会で盛り上げてきた在宅医会（在宅医療に取り組む医療・介護者の定例勉強会）の取り組みがコロナでストップしてしまい、オンライン化を模索したいところです。

12. 今年もたくさんの補助金を申請

災害と同じく、新型コロナのような危機的な状況では、多種多様な補助金が支給されます。補助金は書類作成など手間はかかるのですが、やらないと一銭も入らないので、積極的に活用するようにしています。コロナ関係だけで６つの補助金・給付金。他にも働き方改革やノーリフトなどの補助金もチャレンジしました。事務方が直接収益を得られる、数少ない機会の一つだと思っています。

講演実績

昨年は、当初は中止が多かったですが、オンラインセミナーに切り替わって講演方法もトライ＆エラーで、だいぶ慣れてきました。

病院広報誌編集会議 in 博多「谷田病院が取り組む地域づくり」
脳神経看護研究学会 九州地方部会 脳神経看護研修会「脳循法と診療報酬」
CB セミナー「20 年度改定、貴院はどう動く？」
長 英一郎 医療経営オンラインサロン「診療報酬のコロナ特例とその先」
日本医療経営実践協会関東支部　山梨・長野研究会「コロナ禍における病院経営」
長 英一郎 医療経営オンラインサロン「谷田病院地域づくりの取り組み」
熊本保健科学大学　認定看護師教育課程　脳卒中看護分野「看護管理」
これからの福祉と医療を実践する会（第 462 回例会）「きれいごとだけではない病院経営」
日経クロスヘルス EXPO2020「谷田病院における地域づくりの取り組み」
医療ビジネス研究会「中小病院の看護を中心とした病院経営と地域づくり」
病院マーケティングサミット「病院広報としての地域づくり～未来の患者創造～」
矢野経済 21 世紀医療問題分析研究会「今、病院経営に必要なこと～谷田病院が目ざす地域包括ケアとは～」
GR 加算だポンセミナー「2020 年度診療報酬改定で実際どうなったか！」

執筆実績

中外製薬 広報誌ポラール「周術期等口腔機能管理」
医学通信社 月刊保険診療「2020 年診療報酬改定を読み解く」（工藤高氏のセミナー）
日総研 看護部長通信「地域包括ケア病棟・医療療養病棟のケアミックス病院における改定対応」
ソラスト Web サイト「2020 年診療報酬改定で押さえておきたい 5 項目」
日本メディカルセクレタリー機構「はじめてのメディカルセクレタリー」（医療法規と医療機関の業務）
日本医療企画 最新医療経営フェイズ・スリー「2020 年度診療報酬改定『私の読み方』」
日本医療企画 栄養経営エキスパート「2020 年診療報酬改定と集中治療領域の栄養管理」
日本医療企画 医療経営士中級テキスト「病院機能別・診療報酬による戦略的経営」
ロギカ書房 ちば医経塾テキスト「消滅可能性自治体にある中小規模病院の経営改善」
医学通信社 月刊保険診療「ケアミックス病院における 2020 年度診療報酬改定への対応」
ソラスト Web サイト「人生会議について」
産労総合研究所 病院羅針盤「連携の取り組みとしての在宅医会」
CB ニュース「突然の JMAT 体験記」
中外製薬 広報誌ポラール「外来化学療法加算１（連携充実加算）」
産労総合研究所 病院羅針盤「ケアミックス病院における２０２０年度診療報酬改定の対応」
医学通信社 月刊保険診療「鼎談　事務部門発で医療機関を変えていく！」
日総研 ナースマネジャー「看護師長が知っておきたい DPC データの分析と活用の具体策」

日本医療企画 クリニックばんぶう「なぜ医療機関が地域づくりに取り組むのか」
日本医療企画 最新医療経営フェイズ・スリー「事務部、全員事務長宣言！に向けた取り組み」
日本医療企画　ヘルスケア・レストラン（毎月連載）「時代の空気を読む」
日本医療企画　月刊医療経営士（毎月連載）「今月の話題　News monthly」

谷田病院　医療マネジメント職の執筆実績
医療経営情報社（毎月連載）「病院現場からの改善事例」（各担当者）

あとがき

本レポートの内容は谷田病院の他、私の所属する組織とは一切関係がありません。全ての文責は私個人に属します。ご指摘、ご批判、アドバイス、問い合わせ、転送、転用、再利用、すべて OK です。知識や情報、経験、人脈はどんどんシェアしていかないとすぐに陳腐化すると思っています。みなさんとのいろいろなご縁が引き続きありますように。

藤井将志
fujii@yatsuda-kai.jp